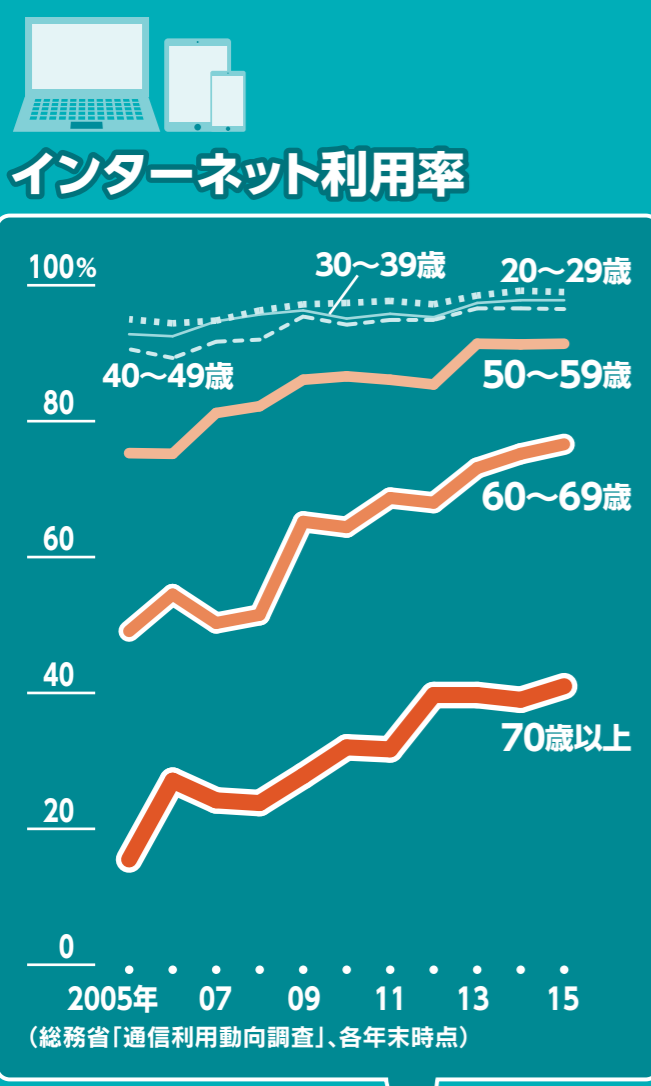
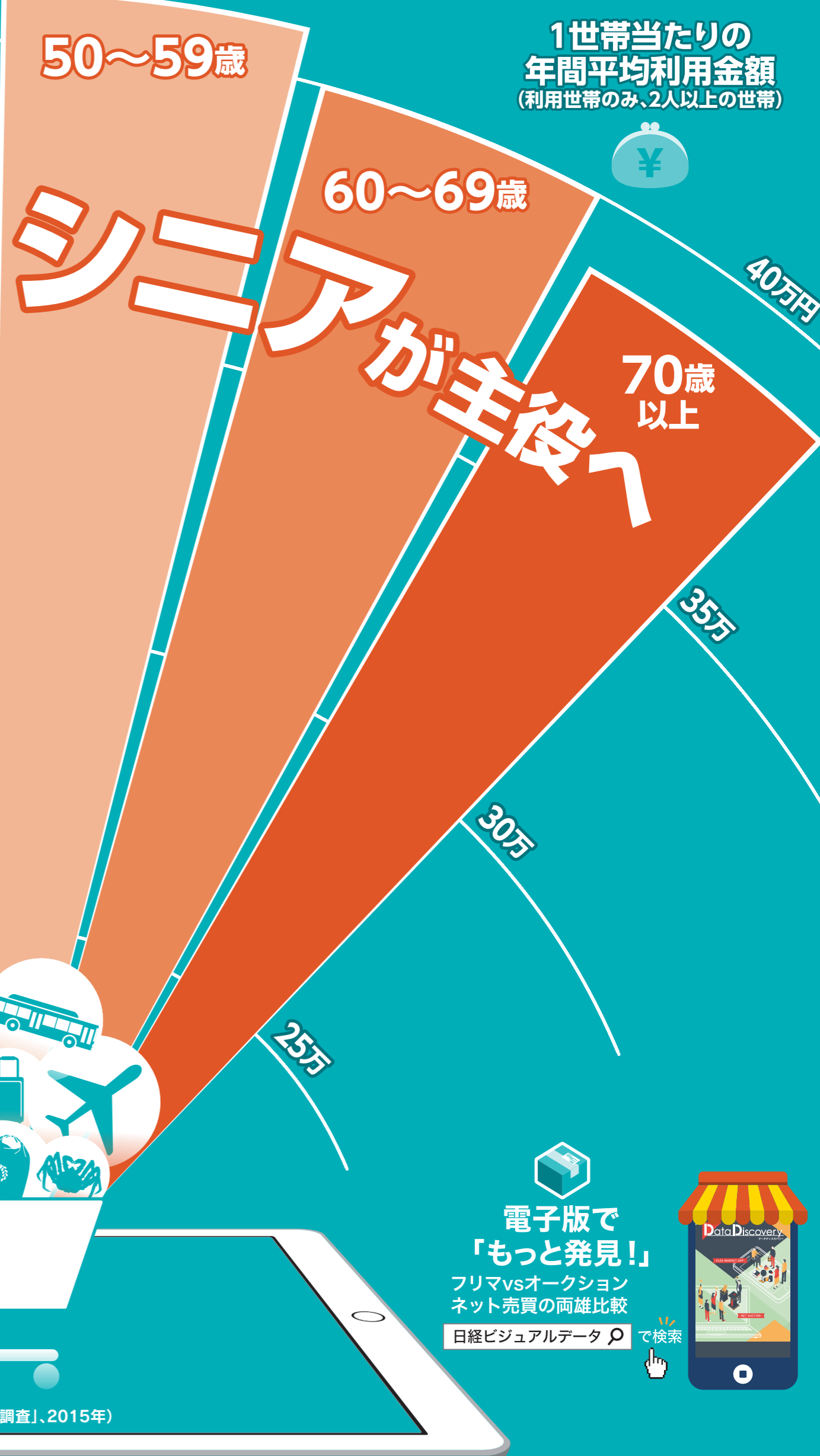


インターネット上で買い物する「ネットショッピング」でも、シニアが主役になりつつある。2015年のネットショッピングの年間平均利用金額(利用世帯のみ、2人以上の世帯)は、世帯主が50代の世帯が40万7988円とトップで、60代、70代以上と続く。特に旅行や食料品の人気が高い。背景にあるのがシニアのインターネット利用率の急増で、50代は15年末時点で91%と、10年間で16ポイント増えた。60代、70代以上も急増した。もともと購買力のあるシニアのネット利用が増えた結果、通常の買い物と同様、ネットショッピングでも存在感を高めている。

ネットで買い物



(総務省「家計消費状況調査」、2015年)

電子版で「もっと発見！」
フリマvsオークション
ネット売買の両雄比較
日経ビジュアルデータで検索

